

平成 30 年度 第 19 回日本赤十字社診療放射線技師会九州ブロック研修会報告

日時：平成 30 年 10 月 20 日(土) 13:00～17:30

平成 30 年 10 月 21 日(日) 9:00～11:40

会場：長崎ブリックホール 3 階 第 1・第 2 会議室
原爆資料館(外部会場)

担当：日本赤十字社長崎原爆病院
日本赤十字社長崎原爆諫早病院

参加者数：49 名

第 1 日目

仙台赤十字病院の安彦会長の挨拶に始まり、日赤長崎原爆病院院長の平野明善氏に特別講演を行って頂きました。その後災害医療支援部講義とグループワークを鳥取赤十字病院の山根晴一氏と大阪赤十字病院の島田裕子氏に行って頂き、各施設の代表者会議を開催し原爆資料館に場所を移して見学を行い 1 日目を終了しました。



日本赤十字社診療放射線技師会会長挨拶
仙台赤十字病院 安彦 茂氏



特別講演 「原爆と形成外科－形態異常と美－」
日本赤十字社長崎原爆病院 院長 平野 明善氏
放射線障害に関わる話から被爆者の治療から形成外科が
発展を遂げた経緯まで非常に興味深い内容で出席者の聞き
入る姿が印象的でした。



災害医療支援部 講義
鳥取赤十字病院 山根 晴一氏
阪神大震災発生時の貴重な写真や当時の技師
の奮闘などをご講演頂きました。



災害医療支援部 グループワーク

大阪赤十字病院 島田 裕子氏

災害が実際に起きた場合にどのように対処するか
討議を行い、備えを新たにしました。

第2日目

会員の研究発表が行われ、活発な質疑応答がなされました。また、教育講演として富士フィルム社の西詰利之氏に DR の最新情報について話していただきました。



1. 上肢の挙上が困難な患者の胸部 CT における
腕の位置の検討

日赤長崎原爆病院 鶴田 祐子氏



2. CT 撮影における VHP と OEM を用いた頭部・
顔面部の被ばく線量と画質検討

福岡赤十字病院 備後 公史氏



3. 大動脈弓部領域における REACT を用いた
black blood 撮影の検討

唐津赤十字病院 立川 圭彦氏



4. 症候性造影剤脳症における ASL
熊本赤十字病院 黒田 洋平氏



5. ブスコパン使用の有無における画像への影響と評価
熊本健康管理センター 浦田 寛行氏



6. 当院における医療従事者の被ばく管理
大分赤十字病院 豊本 隆章氏



- 教育講演 「DR の最新情報」
富士フィルムメディカル(株) 西詰 利之氏



参加者記念写真

皆様のご協力により滞りなく会を執り行うことができました。ご協力に感謝いたします。